

【2022 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
就労支援サービス			(理.作.社.精) 必修 (発) 選択	2	(理.作) 2 (社.精.発) 2.3	前期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
宮村 りさ子		B312	risako.miyamura		木曜日 11:00~12:30	
授業の目的・概要		<p>&lt;目的&gt;「就労」することの意味を理解し、就労支援が必要な対象者や社会的背景を学び、専門職による就労支援について理解することを目的とする。</p> <p>&lt;概要&gt;日本の就労と就労支援について教科書や資料をもとに対面講義を中心に行う。グループワークなどのディスカッション、発表などアクティブラーニングを活用した授業も行うことで理解を深める。</p>				
授業形式・方法		<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク	
学習上の助言		皆さんにとっても身近で重要なテーマであるため、日頃からニュースや新聞記事を読んで欲しい。				
教科書		新社会福祉士養成講座 18 就労支援サービス 第 4 版/編:社会福祉士養成講座編集委員会/中央法規出版				
参考書		教科書以外の資料は別途配布する。参考図書は適宜授業時に紹介する。				
外部教材		なし				
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	雇用や就労の動向と政策について理解し、説明することができる。				HSU (1)(3)	
②	労働に関する法律と制度について理解し、説明することができる。				HSU (1)(3)	
③	就労支援が必要な対象者と社会的背景について理解し、説明することができる。				HSU (1)(3)	
④	就労支援に関わる組織や団体の役割と実際について理解し、説明することができる。				HSU (1)(3)(4)	
⑤	就労支援に関わる専門職の役割と実際について理解し、説明することができる。				HSU (1)(3)(4)	
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	オリエンテーション (授業の進め方、評価方法、学習方法) を実施する。	講義	シラバスや教科書を読み、全体像を把握する。			4
2	働くことの意味について考える。	講義	該当箇所の教科書を読み専門用語や重要内容を理解する			4
3	雇用/就労の動向と施策①「労働市場の変化」を学ぶ。	講義	該当箇所の教科書を読み専門用語や重要内容を理解する。			4
4	雇用/就労の動向と施策②「労働に関する法律と制度」を学ぶ。	講義	該当箇所の教科書を読み専門用語や重要内容を理解する。			4
5	障害者と就労支援①「障害者の就労の現状」「障害者福祉政策における就労支援」を学ぶ。	講義	該当箇所の教科書を読み専門用語や重要内容を理解する。			4
6	障害者と就労支援②「障害者雇用施策における就労支援」「民間の取り組み」「諸外国の取組み」を学ぶ。	講義	該当箇所の教科書を読み専門用語や重要内容を理解する。			4
7	低所得者と就労支援「低所得者等の就労の現状」「低所得者等における就労支援」を学ぶ。	講義	該当箇所の教科書を読み専門用語や重要内容を理解する。			4
8	専門職の役割と実際①「障害者雇用施策の専門職役割」を学ぶ。	講義	該当箇所の教科書を読み専門用語や重要内容を理解する。			4
9	専門職の役割と実際②「低所得者の就労支援の専門職役割」を学ぶ。	講義	該当箇所の教科書を読み専門用語や重要内容を理解する。			4
10	就労支援の連携と実際①「連携の過程」を学ぶ。	講義	該当箇所の教科書を読み専門用語や重要内容を理解する。			4
11	就労支援の連携と実際②「連携の意義や実際」を学ぶ。	講義	該当箇所の教科書を読み専門用語や重要内容を理解する。			4
12	就労支援の実際 グループワーク「働くこと」「就労支援」(1)に取り組む。	GW 討論	該当箇所の教科書を読み専門用語や重要内容を理解する。			4
13	就労支援の実際 グループワーク「働くこと」「就労支援」(2)に取り組む。	GW 討論/発表	該当箇所の教科書を読み専門用語や重要内容を理解する。			4
14	就労支援の実際 グループワーク「働くこと」「就労支援」(3)に取り組む。	GW 討論/発表	該当箇所の教科書を読み専門用語や重要内容を理解する。			4
15	講義全体の振り返りをする。	講義	該当箇所の教科書を読み専門用語や重要内容を理解する。			4
試	定期試験 / 達成度評価や評価のポイントを参照する。					

【2022 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		50	0	40	0	10	100
総合 力 指 標	知識・技術力	40	0	5	0	0	45
	思考・推論・創造する力	10	0	10	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	5	0	0	5
	発表・表現伝達する力	0	0	5	0	0	5
	コミュニケーション力	0	0	5	0	0	5
	取組みの姿勢・意欲	0	0	5	0	10	15
問題を発見・解決する力		0	0	5	0	0	5
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	期末試験では行動目標①～⑥について正誤を判断する問題形式で出題する。出題方法は、主に選択肢ならびに記述式の問題で構成され、行動目標①～⑥に関する達成度についても総合的に評価できるように出題する。				正答や模範解答を公表する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	第 12～第 14 回の授業時には、「働くこと」「就労支援」についてグループワークを実施し、グループで考えや意見をまとめて発表する。				第 14 回の授業時に口頭でフィードバックする。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	授業終了時にリアクションペーパーに感想や意見などを書いてもらう。その内容によって取り組む姿勢や意欲と判断する。				次回の授業の初回に、フィードバックする。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
備 考							
そ の 他	1) 大学が公表している感染症対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。 2) 受講態度に問題がある場合、注意しても守れない学生については退出してもらうことがある。 3) 今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によってシラバスの変更が行われることがある。						